

団地の除草はヤギにお任せください

サポーター

ヤギが団地支援

よこはま団地サポーター 団地の草むしりのお悩みは ヤギが解決します

今回ご紹介するよこはま団地サポーター制度による支援は、青葉区のグリーンヒル鴨志田西住宅で行われたヤギによる除草。ヤギの食欲は留まることを知らず、レベルの違いを見せつけた。



▲ 草をもりもり食べるヤギ。みんなから大人気。

気になる
支援の内容は？

今回、よこはま団地サポーターとして団地の支援を行ったのは有限会社アルファグリーン(横浜市中区)。ヤギによる除草イベント、動物とのふれあいイベント、のヤギの派遣を支援メニューとして登録している。今回の支援が行われたのは、青葉区にあるグリーンヒル鴨志田西住宅。当日は団地のイベントとして、団地内ガイドツアーや光る泥だんご作りなど、住民の交流を生む楽しいイベントが開催された。そこで登場したのがヤギだった。当日はヤギによる草むしりの実演や、ヤギとの触れ合いに多くの人が訪れ、賑わった。今回の人が訪れ、賑わった。今回の人が訪れ、賑わった。

そもそも
よこはま団地サポーター
制度って何？

横浜市内の大規模団地(概ね築40年・約5000戸以上の64団地)と、団地活性化の取組に対する支援意向を持つ企業、大学、NPO等とのマッチングを横浜市が行う制度。事前に企業等に団地サポーターとして支援メニュー等を登録していたとき、大規模団地からの希望に応じて支援を行う。野庭団地では水辺愛護会設立に大学の教員が団地サポーターとして携わるなどの活動も行われている。

担当者の声

よこはま団地サポーターには企業だけでなく、大学やNPOなど80団体が登録されています。有償、無償を問わず、幅広い支援メニューがありますのでウェブページでご確認いただき是非ご利用ください。

なぜヤギ？

広大な草地を抱える団地も多く、そういった団地では日々の草刈りに頭を悩ますケースも多い。

ヤギは一説によると斜面地で最強ともいわれ、人が立ち入るには危険な場所も果敢に立ち向かい、ひたすら草を食べ続ける。思ったより鳴き声や二オイも気にならないという意見も多く、機械を使わない点でエコであったり、人への癒し効果もあつたりするなど、今、草刈りにおいてヤギが注目されつつある。

管理組合も自治会も
ご利用になれます

よこはま団地サポーター制度にご興味がありますら是非ご利用いただけます。幸いです。利用条件等詳しくはお問合せください。

※当チラシは、団地、支援団体に了承頂いた上で作成しております。

お問い合わせ先

横浜市
建築局住宅再生課

電話 (045)
67112954



詳しくはQRコードまたは

よこはま団地サポーター

検索